

シグマ委員会
元年度第2回運営委員会議事録（案）

日 時： 1989年6月9日（金） 13:30～17:30
場 所： 日本原子力研究所 本部 第1会議室
出席者： 鹿園（委員長、原研）、北沢（東工大）、瑞慶覧（日立）、吉田（NAIG）
五十嵐、菊池、長谷川、平岡（金子代理）、水本、石井（原研）
幹 事： 中島、中川（原研）
オブザーバー： 井頭（東工大）、飯島（NAIG）、松延（住友原工）

配布資料

1. 元年度第1回運営委員会議事録（案）とアクションリスト
2. First Announcement — XIX-th International Symposium on Nuclear Physics, Nuclear Processes in Fusion Reactors.
3. First Circular — Specialists' Meeting on Nuclear Level Densities.
4. Call for Paper — International Conference on Physics of Reactors.
5. NNDCの組織図と計算機システム図
6. 核データ評価に関するNEANDC/NEACRPタスクフォース会議議事録
7. Chairman's Summary and Meeting Highlights of CSEWG
8. 核融合核データに関する第2回専門家会議議事録
9. 核データ評価国際協力に関する答申
10. 核データ専門部会の新体制
11. 元年度会合開催予定
12. シグマ特別専門/研究委員会議題（案）
13. 昭和62、63年度2年報内容構成と編集のタイムスケジュール
14. 1989年核データ研究会に関するプログラム委員の意見
15. 原子力学会1989年秋の大会（核データ・炉物理）合同特別会合テーマ案

議 事

1. 前回議事録確認

前回4月28日の議事録（配布資料1）を確認した。

2. 事務局報告

2.1 国際会議案内

次の3つの国際会議の案内を五十嵐氏が紹介した。

- 1) XIX-th International Symposium on Nuclear Physics, Nuclear Processes in Fusion Reactors, Castle Gaussig, Nov. 6-10, 1989. (配布資料2)
- 2) Specialists' Meeting on Nuclear Level Densities, Bologna, Nov. 15-17, 1989. (配布資料3)
- 3) International Conference on the Physics of Reactors, Marseille, Apr. 23-26, 1990 (配布資料4)

2.2 Tuli 氏との会談

NND Cの Tuli 氏が来日し、5月22日に核構造データ評価グループと会談したことを五十嵐氏が報告した。

2.3 White 氏との会談

R S I Cの White 氏が5月29日に核データセンターを訪れ会談したことを五十嵐氏が報告した。

3. 宿題事項の処理報告

3.1 核データ専門部会のメンバーとシグマ委員会の会合開催予定案決定 (事務局、部長)

それぞれ案を作成した。議題8と9で検討する。

3.2 本委員会の議題の検討 (全員)

議題10で議論する。

3.3 核データ評価国際協力に関する答申案を検討し水本氏に連絡 (全員)

議題7で議論する。

3.4 運営委員会のメンバー案作成 (事務局)

配布資料12を作成したので議題11で議論する。

4. 核データ評価に関するNEANDC/NEACRPタスクフォース会議報告

5月5日OECD本部で開かれた核データ評価の国際協力に関するNEANDC/NEACRPタスクフォース会合 (配布資料6) について五十嵐氏が報告した。5月5日の会合では主に Terms of Reference の検討を行った。

この会合で配られたCSEWGのメモ (配布資料7) についても五十嵐氏が説明した。

5. 核融合核データに関する第2回専門家会議報告

5月8日～11日にIAEA本部で開かれた標記会合の様子を五十嵐氏が配布資料8

で説明した。この会合では、FENDLに格納する評価済みデータの検討を行い、主な核種のデータをどこから採るかをほぼ決めた。またFENDLはITERとは無関係という事を合意した。

6. 動燃における炉定数調整作業について

動燃と原電が今年度から行っている炉定数調整作業について菊池氏が報告した。第1回目の会合は5月11日に開かれ、調整手法、実験体系の選択などについて議論した。

7. 核データ評価の国際協力に関する答申の検討

核データ評価国際協力検討グループの答申（配布資料9）を水本氏が説明した。検討の結果、本答申を受理することとした。

8. 核データ専門部会の組織について

核データ専門部会委員へのアンケート調査を行い、WGのメンバーは配布資料10の通りになったことを水本氏が報告し、承認された。

9. 委員会会合予定について

各グループから出してもらった今年度の会合開催予定数は配布資料11の通りであることを中川氏が説明した。会合数の調整は、年度途中での旅費使用実績を見て行うこととした。

10. 本委員会の議題案の検討

6月23日の本委員会議題案を五十嵐氏が説明し、了承された。また、本年度の運営委員として石井氏、菊池氏、吉田氏が新たに加わることとなり、村田氏が運営委員を止めることとした。

11. 原子力学会秋の大会特別会合のテーマについて

（核データ・炉物理）合同特別会合のテーマ案（配布資料15）を中川氏が説明した。検討の結果、

- 原研・高崎研の加速器整備計画と核データ（原研）田中進氏
- 事務局報告（JENDL-3の公開、核データ研究会）

の2件と、炉物理から1件をとり上げることにした。後者については長谷川氏が検討することとした。

12. 1989年核データ研究会について

核データ研究会プログラム委員の意見をまとめた配布資料14を井頭氏が説明し、議論した。

期日については11月16、17日、場所は茨城原子力センター、またプログラム委員に中島豊氏（原研）を追加することを承認した。プログラムの内容については多くのコメントが出されたので、プログラム委で検討し、次回の運営委員会にもう少し詰めた

案を出すこととした。

13. 昭和62、63年度2年報について

2年報の内容とタイムスケジュール案（配布資料13）を水^本元氏が説明し、承認された。

14. その他

今回は7月28日（金）に原研本部で行うこととした。

Action List

No	担当者	内 容	期 限
1	長谷川	原子力学会特別会合のテーマを決める	6月末
2	井頭	核データ研究会プログラム委員会を開き、プログラムを検討する。	次回